

科目区分	専門分野	科目名	小児看護学概論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15時間)	学期	第2学期
担当講師	下田代 智恵			実務経験	有
科目目標	1. 小児の特徴及び小児看護における看護倫理と役割を理解する。 2. 保健統計を踏まえ小児を保護する法律や保健対策を理解し健康の保持・増進に向けての小児看護の役割を学ぶ。				
授業計画	第1回 小児看護の特徴と理念 (講義) 1. 子どもとは 2. 小児看護の対象 3. 小児各期の区分 4. 小児看護・医療の変遷 5. 小児看護における倫理 6. 子どもの権利 7. 意思決定 8. 小児看護の役割と課題 第2回 小児の成長発達の特徴と影響因子 (講義) 1. 成長発達とは 2. 成長発達の原則 3. 成長発達に影響を及ぼす因子 4. 成長発達評価 5. 小児看護に必要な理論 (エリクソンの発達課題、ピアジェの認知発達理論、ボウルビイの愛着理論) 第3、4回 新生児・乳児・幼児の成長発達 (講義) 1. 形態的特徴 2. 生理機能的特徴 3. 運動機能 4. 感覚機能 5. 心理・社会性の発達 第5回 学童期・思春期の成長発達、 (講義) 1. 形態的特徴 2. 認知機能 3. 情緒・社会性の発達 4. ライフスタイルの変化 5. 喫煙・飲酒の防止 6. 不登校 7. いじめ・暴力、自殺 8. 性同一性障害・セクシャリティの問題 第6回 小児と家族、児童虐待 (講義) 1. 家族とは 2. 現代家族の特徴 3. 家族アセスメント 4. 虐待とは 5. 虐待の種類 6. 児童虐待の防止等に関する法律 7. 虐待の背景 8. 虐待が子どもに及ぼす影響 第7回 小児に関する保健福祉、特別支援教育、災害時の子どもと看護 (講義) 1. 児童福祉 2. 母子保健 3. 学校保健 4. 予防接種 5. 障害児とは 6. 医療的ケア児への支援 7. 特別支援教育 8. 被災した子どもの置かれている環境 9. 災害による子どもへの影響 10. 被災した子どもと家族への看護 第8回 終了試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院				
講師からのメッセージ	小児医療・看護の歴史を踏まえて、現在の小児看護の在り方をおさえる。 ライフサイクルのなかでの小児期の位置づけを明らかにし、小児期の重要性、母子関係・ 家族関係の在り方について理解できるようにする。 発達理論を学び、子どもの現象・事象を科学的に理解できるようにする。 愛着形成と分離不安、学校感染症、予防接種、小児医療の変遷と課題、子どもの権利、 インフォームド・アセント、プレパレーション、重症心身障害児、発達障害、医療的ケ ア児など国家試験出題基準を確認し学習すること。				